



2020年6月30日

当別町長 宮司 正毅 様

当別川のお花を見る会

会長 山路 めぐみ

## 当別町内茂平沢の町有林 一部の活用についての要望書

### 1. 伊達山の歴史と現状について

当別町内伊達山は、南東、南西の2つの尾根が分かれており、どちらも北海道医療大学（以下「医療大学」と略します）に続いています。伊達山は明治から現代まで、農地として、作物が栽培され、学童が、金沢小学校に通学する道として、使われてきたという歴史がありますが、1961年、札幌西高等学校の生徒さん3名により縄文時代の遺跡が発見され、北海道の埋蔵文化財包蔵地として登録されています。

医療大学から伊達山に向かう東の尾根「わたなべ山」は、医療大学の北方系植物観察園となっており、山野草が美しい森として札幌周辺の人々に親しまれています。

伊達山とわたなべ山の間には当別町町有林があり、原則的に通行ができない状態となっていますが、かつてこの地域に住んでいた方からの言い伝えや、自然愛好家の探索活動により、小径ができ、春、夏、秋は木漏れ日や山野草の美しい森の散歩、冬はスノーシューで雪上散歩、といった活動に利用されてきたようです。

2019年春、東の尾根に医療大学から伊達山に至る小径が発見され、北海道当別高等学校主催の「青春フットパス」、秋には、再度当別高等学校「青春フットパス」、町民自主企画講座「発見者と歩く伊達山」で、ここを歩くことができました。

西の尾根は、植林されたトドマツが並び、秋は、いろいろなキノコが生え、木漏れ日の歩きやすい森となっていますが、一部2018年の台風による倒木の重なる部分もあります。

私達は、この二つの尾根と北海道医療大学を結ぶ散策路ができて、町有林の中を、少し整備すれば、教育的、健康福祉的に貢献できる「みんなの伊達山」になるという考えに至りました。同じような山は道民の森牧場南地区にありま

すが、そこまでは遠く、公共の交通機関はありません。伊達山は JR 北海道医療大学駅から徒歩で 30 分、わたなべ山には徒歩で 5 分ほどです。自家用車のない人々も、気軽に散策を楽しむことができます。

そこで、私たちは、町民も、当別町外から訪れる人々も、散策を楽しみながら、当別町・北海道の歴史と未来について考えるきっかけになり、また木育活動や生涯スポーツの場として、町民の心身を豊かに育んでいく身近な山として、伊達山・医療大学わたなべ山・町有林が利用されるよう整備されることを望みます。また、整備には町民も参加をさせていただきますよう、以下の事項を要望いたします。

## 2. 要望事項

- 1) 町有林内で散策を楽しめるよう小径が維持、整備されることを望みます。整備には、駐車場、案内板、休憩ベンチの設置などがあると思いますが、手作りで、既にあるものを利用するなど、なるべく費用が少ない方法を考えます。
- 2) 伊達山遺跡を町の文化財に指定し、伊達山遺跡の活用について検討していただくこと。
- 3) 以上のことを遂行していくために、町民、当別町職員、その他参加可能な方で、話し合いを持つこと。

## 3. 現在、関係のある隣接地の所有者にご了解をいただいていること。

- 1) 南側隣接地の医療大学様では、理事のレベルでこの件について了解しており、話し合いの場を持ってくださることになっています。
- 2) 伊達山所有者の高山安弘氏は、この件について、了承してくださっています。
- 3) 伊達山入り口に小さな部分ですが、町村農場様の所有地が隣接していることが、最近わかりました。遺跡の案内板設置の許可はいただいております、6 月 27 日に町村様も参加して、本年度の設置は完了しています。

以上

小徑(道)  
春山石橋

伊達山

101

14.0

49

37

北海道医療大

北海道医療大学駅

(学園都市線)

13

